



より望ましい教育環境を

信濃町立信濃小中学校視察 ①②③

「保育園・学校課題検討委員会」は、教育長の諮問を受けて保育・教育環境の課題検討を重ねています。今年度、小中学校のあり方について協議する中で、9月29日、信濃町の小中一貫校を視察しました。

信濃小中学校は、信濃町が児童生徒数の減少や既存校舎の老朽化の問題から、望ましい教育環境の検討を行い、平成24年に町内の全小中学校を統合し、特色ある小中一貫校として新設開校された学校です。

校舎は小中一貫ならではの配慮や、地域との交流スペース等が設けられ、新しい学校の形の一つとして、参加された委員は興味深く受け止めていました。

課題検討委員会では、今年度中の答申に向け、望ましい教育環境、学校配置及び通学方法等について、議論を深めていく予定です。

通学路安全点検実施 ④⑤⑥

教育委員会では、9月20日～21日、市内小中学校の通学路点検を実施しました。

飯山警察署、長野県北信建設事務所、市道路河川課・市まちづくり課の協力を得て、小中学校から要望があった箇所現地確認をしました。

今後、通学路における交通安全や防犯について、関係機関と対応策を検討する予定です。

また会おうね、おさかなさん ⑦⑧

9月19日、千曲川への「さかなの放流事業」（飯山ライオンズクラブ主催）に、保育園児を招待していただきました。

いつもは、遠くから見ると千曲川。その岸に立つ園児からは「大きい川！」と驚く声が聞かれ、また稚魚放流の際は、小さな体をさらにかがませて「お魚さんが痛くないように」と、そつと放流する姿が見られました。

その後も群れで泳ぐ魚を見つけては友だちを呼び、川に入り、笑顔で魚に手を振っていました。

「きれいな川になると、魚も沢山来るんだって」「また千曲川で遊びたいなあ」と話す子ども達。

あきは保育園の中村園長は、「今後も地域の皆さまにご協力いただきながら、子どもたちが故郷を大切に思える保育をしていきたい。」と話していました。

地震がきた!! どうする? ⑨⑩⑪

長野県学校安全総合支援事業で木島小学校に設置した緊急地震速報器を使い、10月1日に避難訓練を実施しました。

事前に訓練を知らされていない児童が、緊急音と同時にシェイクアウト（身を低く、頭を守り、動かない）の姿勢をとる様子が見られ、訓練後、信州大学の榊原保志先生（学校防災アドバイザー）や岳北消防本部、飯山養護学校、市内小中学校、教育委員会で意見交換を行った際には、榊原先生から「訓練の最終的な目標は『子ども達が自分で自分の身を守るようになること』」と、消防署職員からは「シェイクアウトの次は周りを避けるタイミングを逃さないことが大事」とアドバイスがありました。

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

小学校6年生と中学3年生を対象に、4月実施の本調査結果がまとまりました。

◆小学校については、算数Aと理科で全国平均をわずかに下回りましたが、国語A・B及び算数Bでは全国平均と同程度の結果となりました。◆中学校については、国語Aと数学Aが全国平均と同程度、国語B・数学B及び理科が全国平均をわずかに下回る結果となりました。◆学力調査の結果を詳細に分析し、一人一人の学力向上を目指した授業改善を、各校と連携しながら取り組んでまいります。

※Aは知識に関する問題、Bは活用に関する問題です。

飯山市と全国の平均正答率比較 (%)

学校別	教科	全国	飯山市
小学校 6年生	国語A	71	71
	国語B	55	56
	算数A	64	62
	算数B	52	52
中学校 3年生	理科	60	58
	国語A	76	75
	国語B	61	59
	数学A	66	66
	数学B	47	44
	理科	66	63

子どもたちと一緒に

平和について考える機会を

飯山市立木島小学校長 平野 弘蔵

今年の夏は大変な暑さでした。学校の夏休みを長くしてはどうかという話も出ました。子どもたちにとっては、とても楽しみな夏休みですが、夏休前の終業式で私は必ず「夏休みは平和について考えよう」と話すようにしています。

ご承知のように、昭和20年8月6日に広島へ原爆が投下され、9日には長崎への原爆投下されました。13日には長野空襲があり、そして15日ようやく終戦となりました。どれも夏休み中の出来事です。NHKが全国の18歳と19歳を対象に行った世論調査によると、日本が終戦を迎えた日について、14%が「知らない」と答えたというニュースがありました。平和な日本にあつて、戦争を風化させてはならないという思いが強くなります。

今年の広島平和祈念式典で小学生の代表が読み上げた「平和への誓い」の中に、▼平和とは、自然に笑顔になれること。▼平和とは、人も自分も幸せであること。▼平和とは、夢や希望をもてる未来があること。という一節がありました。

こうした誰もが願うことを戦争は奪ってしまいます。戦争は最大の人権侵害ともいわれます。

本校1年生の児童が七夕の短冊に「みんなが、いっしょに、なかよくなれますように」と願い事を書いていました。とても素敵なことだと思いました。また、ある講演会で、卒業が近い6年生が、後輩に次のようなことを話したことを聞きました。

「皆さん、人にとって一番大切なものは平和です。そして、平和を作るのはとっても簡単です。それは、自分の隣にいる人を大切にしたら世界中にあつという間に平和が生まれます。」

子どもたちは実によく考えていると感心します。

明日の子どもたちに